



「植物会議 -plant conference-」



総合演習 1

佐藤ゼミ 1022029 藤本智江

01. 企画概要

作品のコンセプト

「植物会議とは」

普段は動かず、ものを言わない小さな生き物たちが
私たちの気づかない所では、生き生きと動いている。

人の見ていない時には活発になり、人がいない時には
じっと息を潜めているような、部屋の植物たち。

電子工作の動作

LED の点灯
モーター振動



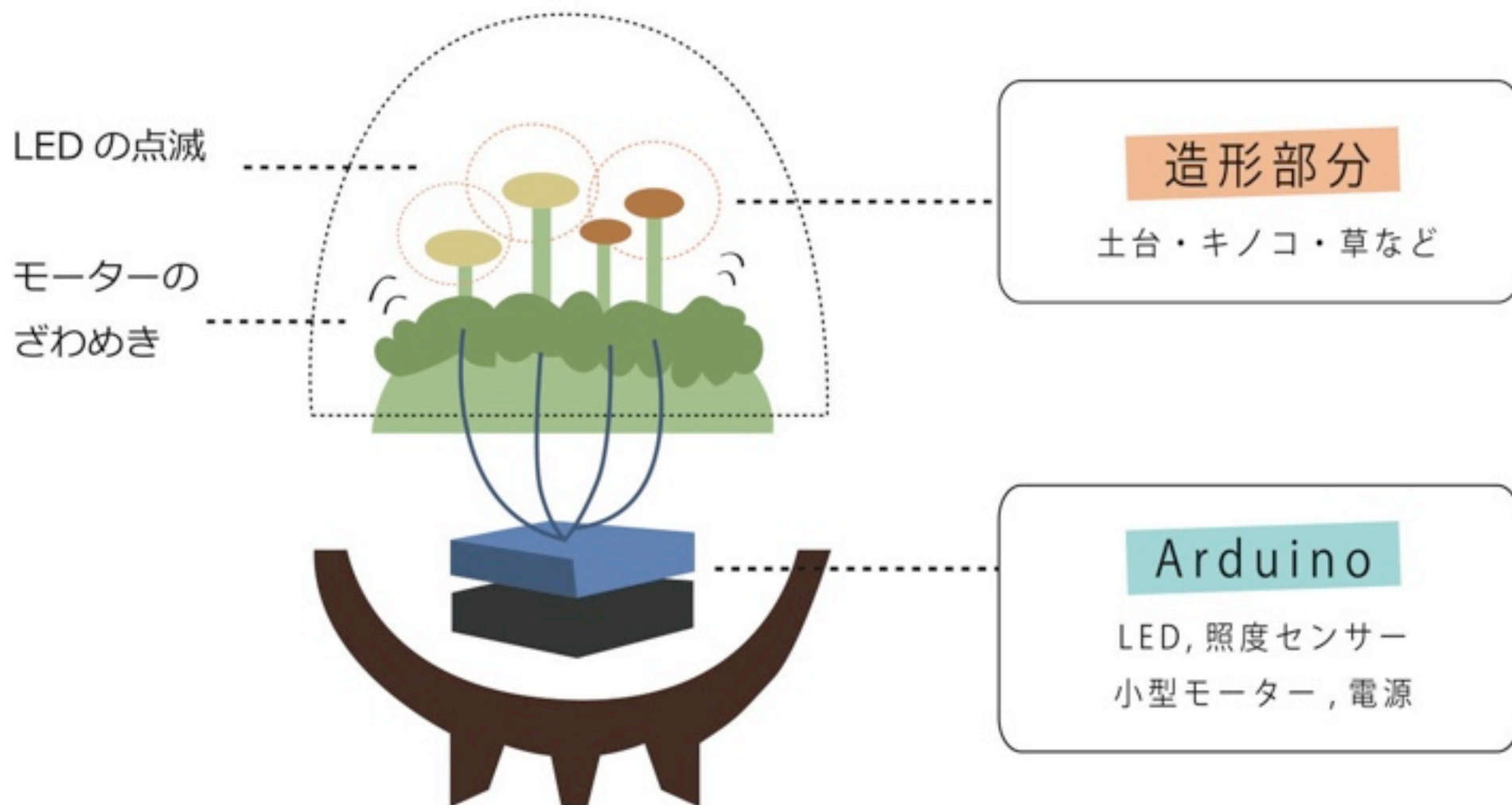
造形と合わせた表現



点滅する速度を変えると
息をしているようになる。
振動のスピードを調節すると
生き物のような動きになる。

01. 企画概要

作品の外観と構造



02. 製作の過程

大きく分けると三段階

01

スケッチと試作

(中間発表)

造形部分のイメージを明確にする。実際に使う素材を色々試し、プログラミングに使う Arduino も初めて使用した。

02

装置部分の制作

Arduino uno での実制作。
実際に使用する装置を制作し、調整する。

03

造形部分の制作

装置部分の大きさが確定した後、土台と小物を制作。LED とモーターを埋め込む。

02

装置部分の制作

小型モーター, LED, 照度センサーを動かすための装置。
Arduino uno ひとつで制御できる。

光るキノコ = LED (6 個) *analog*

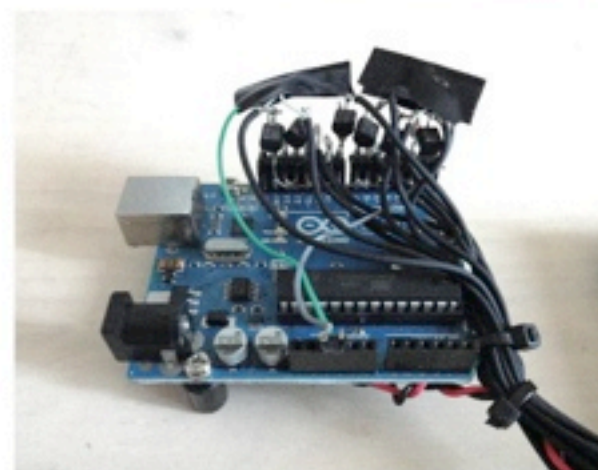
```
brightness[i] = random(80,256);
```

80-256間の明るさの値をランダムに入手

ざわざわ動き = モーター (6 個) *digital*

```
interval[i] = random(250,500);
```

250-500の振動する間隔をインターバルに入手



02

装置部分の制作

装置が作動するパターンは三種類。

照度センサーは **部屋 (A0)** と **手元 (A1)** に反応する。

	環境	LED モーター	人との関係
01	<u>部屋の明るさ</u> / <u>手元の明るさ</u>	  ×2	人が部屋にいる
02	<u>部屋の明るさ</u> / <u>手元の暗さ</u>	  ×3	人が部屋にいる + 近寄る時の影
03	<u>部屋の暗さ</u> / <u>手元の暗さ</u>	  ×6	人が部屋にいない

03

造形部分の制作

キノコは半透明の樹脂粘土を使用。
LED と組み合わせて光るキノコにする。



着色は模型用の水性アクリルカラー。
エアスプレーで着色し、リアルな質感を出す。

茎は手芸で使われるフラワーワイヤーを巻き、
その上から粘土をかぶせて着色。



03

造形部分の制作

持った草の部分の中央に穴を開け、そこから装置のコードを取り出して設置していく。



使用している植物は、プリザード加工された本物のスパニッシュモス。

03

造形部分の制作

その他制作した部分、工夫した部分。



クリアドームがはまる溝をつけた造形部分と装置部分の蓋。

サラダボウルにつける三脚の足も制作。

とにかく目立たないようにコードや部品の全てにフラワーテープを巻いた。





ご清聴ありがとうございました！